

The path we tread, The future we seek.

私たちは、どこから来て、どこへ向かうのか

— 宇宙から辿る、日本の歴史 —

46億年の地球の歴史から見れば、私たち人類の歩みも、日本という国の歴史も、ほんの一瞬の出来事。宇宙が生まれ、地球が生まれ、生命の誕生。人類は大地を歩き、海を渡り、やがてこの日本列島へ辿り着きました。今年、MEKが子どもたちと辿るテーマは「日本の歴史」。壮大な時間の流れと神々の物語、そして日本という国の始まりへ「私たちは、どこから来たのか」そして、「これから、どこへ向かうのか」。という答えのない問いを子どもたちと共に考えをめぐらせます。



阿田宮の八咫鳥像

日本の歴史にフォーカスを当てる

モンテッソーリの小学校過程では、「地理」の学びは宇宙の始まりから、そして「歴史」の学びは地球の誕生をスタート地点としています。今から46億年前の地球誕生から現代に至るまでの気が遠くなるような時間の流れが、私たちにとっての「歴史」なのです。

歴史と聞くと、年号や出来事を覚える暗記科目を想像するかもしれませんが、しかし、モンテッソーリ教育で扱う歴史は、文字によってたくさんの記録が残っている「歴史時代（有史時代）」だけにとどまらず、それ以前の膨大な「先史時代（有史以前）」も含まれます。そのダイナミックな時の流れが、子どもたちの知的好奇心の扉を開く鍵となります。

地球が始まったばかりのころ、その姿は今とは全く異なっていました。青く輝く現在の姿からは想像もつかない、真っ赤に燃えたぎるマグマの海のような球体。やがて大気が冷えて雲ができ、激しい雨が降り注ぐことで、地球の表面は少しずつ冷やされ、表面に薄くて固い地殻を形成していきました。しかしそのすぐ下ではマグマがなお熱くうごめいています。その動きに揺さぶられ、隆起し、押し合わされながら、地球の表面を何枚もの岩盤が覆っていきます。一度できたように見えた陸地もまた引き裂かれます。そこにできたあらゆるひび割れや隙間に水が流れ込んでいくことで、長い時間をかけて現在の海の形が作られていきました。

この落ち着いたような、落ち着かないような地球上に、奇跡とも言われる生命が誕生したのは今から約35億年前のことだといわれています。

目に見えないほどの小さな単細胞生物から始まり、やがて多細胞生物へと進化し、生命は少しずつ多様化していきました。海の中で生まれた生命は陸上へと進出し、豊



かな緑が地球の表面を覆っていました。魚類から両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類へと進化の過程を辿ります（諸説あり）。

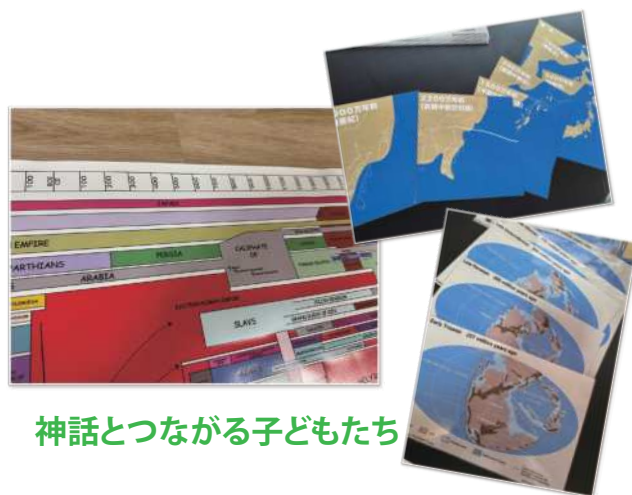
「陸地」といえば今から約3億年前、地球上には「すべての陸地」という意味の、一つの大きな「パンゲア大陸」と呼ばれる超大陸が存在していたそうです。この時代の世界地図には、もちろん現在の日本列島の影も形もありません。

地球の表面を覆う岩盤(大陸)は長い時間をかけて今も移動し続けています。今から2,200万年前、日本列島の「もと」になるような突起状の形が大陸の端に現れました。その後、大陸から完全に離れ、現在のような島国の形になったのは今から500万年～100万年前だとか。地球の46億年から考えるとなんだか「つい最近」のよう。今私たちが踏みしめているこの大地も、絶えず動き続けている地球のダイナミズムの中にあります。



そんな地球上に「人類」と呼ばれる存在が出現したのはいつであるかは、現在も様々な研究が続けられています。しかし、多様な生命進化の果てに、私たちの直接の祖先が誕生したことは間違いありません。二本足で直立し、自由になった手を巧みに使えるようになった人類は、厳しい自然環境の中で知恵を絞り、生き延びてきました。アフリカ大陸からユーラシア大陸まで、地球上の陸地を歩いて移動した、人類の「グレート・ジャーニー」。過酷な旅を経て、今私たちが暮らすこの日本列島にも、倭人、倭族、縄文人と呼ばれる私たちの祖先が辿りつきました。

ここから、私たちの物語(ストーリー)が始まります。縄文時代は、1万年以上もの間、大きな戦争もなく平和に続いた時代であったとよく言われます。自然の恵みを敬い、豊かな森や海とともに生きた縄文人たち。やがて暮らす人間の数が増えるにつれて、自然発生的に「ムラ」が形成され、稲作や家畜の飼育が始まると、集団をまとめ、協力し合うための組織化が必要になってきたのです…。



神話とつながる子どもたち

小学校課程におけるモンテッソーリ教育の最大の鍵は、ストーリーテリング(物語の語り聞かせ)にあると言っても過言ではありません。6歳を過ぎた子どもたちは、具体的な物事の観察から一歩進んで「目に見えないもの」や「抽象的な概念」を思い描く能力(想像力)を飛躍的に発達させます。この能力を最大限に活用するために、モンテッソーリ教育では、宇宙の誕生、生命の進化、人類の歩みといったテーマを、神話やドキュメンタリーやインタビューに仕立て、心を揺さぶる感動的なストーリーとして子どもたちに届けます。

歴史の学びにおいてもストーリーテリングは欠かせません。なんとと言っても、歴史(ヒストリー／History)という言葉の中には「ストーリー／Story」が含まれているのですから。ストーリーあってこそその歴史。それは愛や恋、喜びや悲しみや憎しみといった、人間のあらゆる感情から生まれた壮大な物語なのです。

小学生のためのモンテッソーリ教具の代表格は、様々なタイムライン(年表)。その一つに「文明のタイムライン」というものがあります。世界中で複雑に絡み合い、繁栄と衰退を繰り返す文明の様子がグラフ化して示された年表です。その一番上に「JAPAN」と記された一筋の文明が描かれています。他のどの文明にも脅かされることなく、約2千年もの長きにわたり、一つの文明を脈々と受け継いできた国は、近代・現代の世界において極めて稀有な存在です。

今年のMEKのテーマは「日本の歴史」。そこで今回は、私たちが今に守り続けてきた「天皇制」の始まりの物語である『古事記』を通して、国家形成の様子や文化に関心を持てよう子どもたちに紹介することにしました。もちろん、ストーリーテリングで。

この不思議な宇宙が始まった時のことを覚えていますか？
世界にはまだ何もなく、天も地も、光も闇も、時間もない。何もない「無」がそこにはあるだけ。今日は、私たちの暮らす国、日本のはじまりのお話をします…。

宇宙の混沌の中で高天原(たかまがはら)と呼ばれる天のとても高いところで、突如として天地(あめつち)が初めて開けました。そこに最初にお生まれになった神の名は、天之御中主神(アメノミナカヌシノカミ)。宇宙の根源の、その名の通り、天の真ん中の主の神様。次に生命や万物を生み出す「むすび」の御霊「高御産巢日神(タカミムスヒノカミ)、神産巢日神(カミムスヒノカミ)がお生まれになりました。この三柱

の神は、独神(ひとりがみ)としてお生まれになり、すぐに姿を隠されました。この三神を「造化三神(ぞうかさんしん)」と言います。(中略)次に宇摩志阿斯訶備比古遲神(ウマシアシカビヒコヂノカミ)、天之常立神(アメトコノタチノカミ)。この二柱の神々も、性別のない独神としてお生まれになり、のちに姿を隠されました。この五柱の神のことを別天神(ことあまつかみ)といい、姿かたちはなく、目には見えない神様でした。

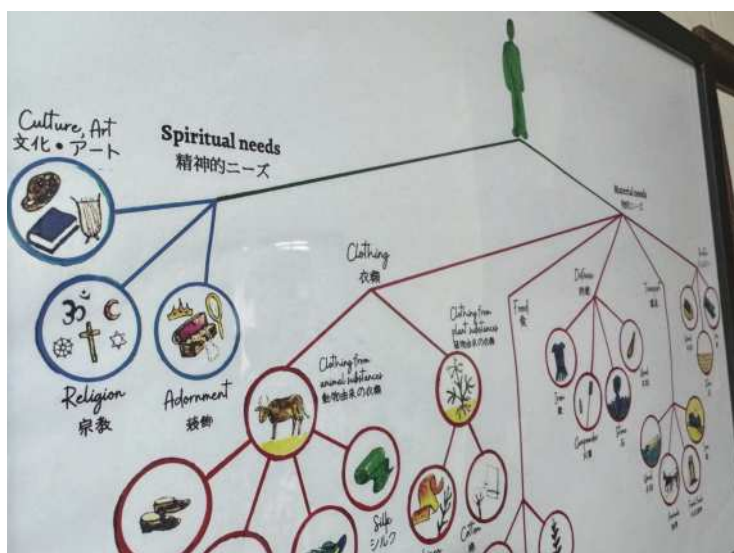
天之御中主神(アメノミナカヌシ)はおっしゃられました。
「さあ、はじめましょう」

こうして始まる『古事記』の冒頭部分。地理の最初のコズミック・フェブル「宇宙と地球の誕生物語」に登場する「神様」の存在と、どこか似ていると思いませんか？ここに歴史の面白さがあります。「人間が生きていくために必要なもの／Fundamental Human Needs」という歴史分野の教材に、人類は時代や国を超えて普遍的に、人間の力を超えた存在を求めてきたことが示されています。神話はその中でできた「生きるためのストーリー」と言えるのではないのでしょうか。

『古事記』の紹介は、MEK独自に作ったタイムライン(年表)を縦に伸ばしながら進みます。イザナギ・イザナミの「国うみ」や「黄泉の国」の話、そしてアマテラスオオミカミ

のご誕生。「天の岩戸隠れ」や「ヤマタノオロチ」といったエピソードはもちろん、オオクニヌシノカミと因幡の白うさぎの物語。一寸ぼうしやうらしまたろうといった日本を代表するお伽話のルーツになったお話も、古事記や日本書紀に登場します。そしてニギノミコトの「天孫降臨」を経て、最後に神武天皇の御即位で第一部は幕を閉じます。

幸いなことに、『古事記』に登場する「岡田宮」が、私たちの住む北九州にあります。校外学習(Going Out)として子どもたちと訪れ、宮司さんにお話を伺ったり、また自ら調べ学習を進めたりしながら、神話と現実世界を行き来し学べるのも、小学生ならではの素晴らしい体験です。



私たちはどこからきて、どこへ向かうのか

初代「神武天皇」は、ご即位の直前、橿原の地に都を定め
るにあたって日本建国の精神を申されました。

「自我東征、於茲六年矣。頼以皇天之威、凶徒就戮。雖邊土
未清餘妖尚梗、而中洲之地無復風塵。誠宜恢廓皇都、規摹
大壯。而今運屬屯蒙、民心朴素、巢棲穴住、習俗惟常。夫大
人立制、義必隨時、苟有利民、何妨聖造。且當披拂山林、經
營宮室、而恭臨寶位、以鎮元元。上則答乾靈授國之德、下
則弘皇孫養正之心。然後、兼六合以開都、掩八紘而爲宇、
不亦可乎。觀夫畝傍山畝傍山、此云宇禰摩夜摩東南橿原
地者、蓋國之塙區乎、可治之。」

現代語訳：「東征についてから、ここに六年が経った。（中
略）大人（聖者）が制度を立て、時代に応じた正しい道（理）
に従う。それが民のためになるのであれば、聖なる行いに、
何の差し支えがあるだろうか。そこで、山林を切り開いて宮
殿を造り、私は謹んで天皇の位につき、人民を安じようで
はないか。そうすることで、上には、天の神がこの国を授け
てくださった恩に報い、下には、皇孫が正しい道を養い育
てようとした御心を広めることができる。その後、東西南北
と天と地（六合）を一つにまとめて都を開き、世界のあらゆる
方向を支え、大きな屋根で覆い、その一つ屋根の下で暮
らす家族のようになれば、それはすばらしいことではな
いか。見れば、畝傍山の東南にある橿原の地は、まさに国
の中心となるのにふさわしい場所だろう。ここを都として
治めよう。」

（日本書紀巻第三神日本磐余彦天皇 神武天皇 より）

この建国の精神を通じて知ったことは、日本という国は万
物への感謝の念と家族愛が基盤にあるということ。普段は
意識することのない「日本人としてのあり方」を、私たちは約
二千年もの間、目には見えない精神で代々受け継ぎ生きて
いるのだと深く考えさせられました。

先史や歴史を辿り、神話の世界に心を寄せることで、私
たちは自らのルーツを知ります。そしてここから、私たちはど
こに向かって進んでいくのでしょうか。

人類は歴史の中で、土地や権利、権力をめぐり争いを重
ねてきました。もしかすると、人間だけが持つ「想像する力」、
想いを自らの手で「創り出す力」、そして計り知れない「愛す
る力」があるからこそ、摩擦が生まれてしまうのかもしれま
せん。だからこそ私たちは、人間だけに与えられたその大切
な力を、世界をよりよくするため、社会へ恩返しをするため、
そして自分自身の人生を謙虚に美しく生きるために使って
いきたいと考えます。なぜなら私たちは、この地球と、地球
に存在するすべての無機物、植物、動物、豊かな資源、そし
て会ったこともない「どこかの誰かのしごと」によって支えら
れ、生かされているのだから。

明日の私のしごとが、地球のどこかで、誰かのお役に立
てることへの感謝を込めて。

“Evolution, in the history of life, is a slow process.

*Education, however,
the type of education I am speaking about,
will certainly be an element to reach the loftiness
destined to humanity.”*

Maria Montessori, “Citizen of the World”

「生命の歴史の中で、進化とはゆるやかな過程です。

しかし教育は、一方で、
ここで私が言っている教育のことですが、
人類が崇高さに辿りつくための
要素へと、確実になっていくでしょう。

マリア・モンテッソーリ, “Citizen of the World”

主要参考文献

出口治明『日本史の極意』, SB新書 (2026)
先崎彰容『本居宣長「もののあわれ」と「日本」の発見』, 新潮選書 (2024)
加古里子『人間』, 福音館書店 (1995)
石井良助『天皇 一天皇の生成および不親政の伝統一』, 山川出版社 (1982)
葉室頼昭『にほんよくに①～⑥』, 富山房インターナショナル (2015)
ちはやぶる記紀神話研究会『くらべてよくわかる古事記と日本書紀』, ワン・パブリッシング (2025)
國學院大学「古典文化学」事業データベース [https://kojiki.kokugakuin.ac.jp/research/Classic Studies](https://kojiki.kokugakuin.ac.jp/research/Classic%20Studies) 古典の改め <https://classicstudies.jimdofree.com/>
ラノベ古事記 古事記上巻原文を読む <https://www.kojiki.co/mokuji/original/>

みらいの学校

2025年度は、北九州市内で計3回の「みらいの学校」を開催いたしました。毎年お声がけくださる団体様や協働してくださる皆様のおかげで、今年度も子どもたちが体験を通して学べる場を作り出すことができています。

vol.11「小倉南区こどもまつり」(9月)

今年度は、昨年大盛況だった「スライム制作ブース」をさらにパワーアップして出店しました。今回はスライムを作るだけでなく、参加した子どもたちが自ら考案した「オリジナルスライム」を販売するブースも新設。子どもたちが主体となって活き活きと活躍する、活気あふれる出店となりました。

vol.12「子ども国際マーケット」(2月)

「国際交流×職業体験」をテーマにした「子ども国際チャリティーマーケット」を開催いたしました。今年度は、花農丘公園・北九州市立総合農事センターが主催する「NOUJI学園」の後期イベントとして、2026年2月14日・22日・23日の3日間にわたり実施しています。

本イベントは、子どもたちが仲間と協力しながら自ら考え、行動する貴重な機会となりました。最初は緊張していた子どもたちも、回を重ねるごとに自然な笑顔や積極的な姿勢が増え、短い期間の中でも確かな変化と成長を感じられる有意義な時間となりました。

共催：花農丘公園・北九州市立総合農事センター

協力団体：有限会社がんこ本舗、ウォータースタンド株式会社、Footloose、ハグクミ、岡田氏、グラッチャ子ども運動トレーニングセンター



vol.13「PTAこどもフェスタin八幡西」(3月)

今回で3回目の参加となる「PTAこどもフェスタin八幡西」(会場：三菱ケミカル様)では、MEKの在籍生たちがフリーマーケットを出店しました。

サイズアウトした服や本・おもちゃを持ち寄って値付けをしたり、手作りの千本くじやUFOキャッチャー、ガチャガチャ、カラフルな自作スライムを用意したりと、それぞれが工夫を凝らした「自分らしいお店」を作り上げました。イベントの最後には売上と経費を集計し、「売上－経費＝利益」の仕組みを実践的に学ぶ機会となりました。



九州職業能力開発大学校(九州ポリテクカレッジ)様・中国職業能力開発大学校島根校(ポリテクカレッジ島根)様との共同制作

昨年度に引き続き、九州職業能力開発大学校(建築科)様との共同研究を実施いたしました。3年目となる今年度は、九州校に加え、新たにポリテクカレッジ島根様とも共同研究を展開し、移転したMEK新校舎におけるエントランスのデザイン・制作や、子どもたちが使用する椅子の制作をご担当いただきました。

制作にあたっては、複数回の打ち合わせやヒアリングを重ねたほか、子どもたちが主体的に関われるよう「靴箱制作ワークショップ」も開催していただきました。児童自身が普段使う靴箱を自分の手で作り上げるという、大変貴重な体験となっています。

なお、使用した木材につきましては、昨年度に引き続き大英産業株式会社様より多大なるご支援・ご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。



Summer School, Winter School開催

山門町校舎に移動して初のSummer SchoolとWinter Schoolを開催しました。施設環境が広がったことにより、各日程の参加者数を増やし、ダイナミックな学びにつなげました。3日間で多くの子どもたちが参加していただきました。子どもたちの新たな興味を引き出す貴重な体験となりました。



日程		テーマ
Summer School	A日程	幾何学
Summer School	B日程	人類の歴史
Winter School		言語



寿山・スコーラダイニング

2025年6月より、毎月第3土曜日に寿山市民センターにて子ども食堂「寿山・スコーラダイニング」を開催しております。
当ダイニングのコンセプトは、「子どもの主体性が最高のごちそうになる場所」です。子どもが単に「もてなされる」食事の場ではなく、子ども自身が「提供側」の主役となって運営に参加し、地域のみなさまと一緒に食卓を囲む子ども食堂を目指しています。
毎月、寿山地域の方々や町内会長様、Q&Eステート様をはじめ、当法人を応援して下さる多くの方々のご協力をいただきながら、活動拠点である寿山校区における地域貢献の形として着実に根づいてまいりました。

スコーラカフェ/ ワークショップ

MEKにて、対話形式による「スコーラカフェ」(年4回)および「ワークショップ」(夏・春の計2回)を開催いたしました。近年では市外や県外からも、小学生向けのモンテッソーリ教育を知りたいと参加された皆様と、ディスカッションを通して互いに学ぶ良い機会となっています。スコーラカフェは、モンテッソーリに限らず、多様な教育の選択肢について視野を広げるきっかけとなっています。また、参加された保護者の皆様が教育のあり方や日々の子育てについて一度立ち止まって深く考え、互いに意見を交わし合える貴重な交流の場となっています。



子どもたちの「やってみたい」が、またひとつ広がった1年。

2025年度も、たくさん子どもたち、保護者、地域の皆さま、会員・寄付者の皆さまに支えていただきました。

一人ひとりの「知りたい」「やってみたい」から始まった活動は、学校の中から地域へ、そして新しい人とのつながりへと広がっています。

01 子どもたちと育てた「学び」

モンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州

10名
MEK在籍児童

2024年度
5名
↓
2025年度
10名へ **2倍に!**

6～12歳の異年齢子どもたち(縦割りクラス編成)は自分の興味から学びをどんどん広げています。

「教えてもらう」から「自分で世界を探究する」へ

02 学校の外に広がるScuola

子どもの学びは地域社会へ



みらいの学校 **年4回**



Scuola Café **年4回**



子ども食堂
「寿山・スコラダイニング」 **スタート**



地域・企業・学校との連携拡大

・九州職業能力開発大学校(九州ポリテクカレッジ)
・大英産業株式会社

学びのフィールドは
「教室」から「まち」へ

毎月第3
土曜開催!
子ども食堂



03 みんなから支えられた、2025年度

1年間の活動を支えた収益

1,343万円

経常収益 13,438,820円

約85%が
事業収益!

その内訳は

事業収益	11,446,214円 (約85%)
寄付金	1,032,015円 (約7.7%)
助成金等	830,000円 (約6.2%)
会費	128,000円 (約1.0%)



収益の約85%は、自ら行う事業から。

子どもたちへの教育活動や、子育て支援、セミナー・イベントなど
Scuola dei Bambiniが自ら生み出す事業が活動の大きな基礎になっています。
寄付・会費・助成金による応援が、新しい挑戦を後押ししています。

04 いただいた資金を活動へ

2025年度に活動に使ったお金



事業費

1,154万円

事業費 11,541,064円



管理費

362万円

事業費 3,623,337円



うち人件費

1,021万円

人件費、業務委託費
10,210,810円

子どもと直接関わるスタッフ、活動を企画・運営するスタッフなど、
Scuolaの活動を支える「人」にも大切に資金を使っています。

当期正味財産増減額△173万円(1,725,581円)

2025年度も多くの方々と出会い、温かいご協力をいただきながら、子どもたちの健やかな学びと育ちを支援することができました。

心より御礼申し上げます。子どもが学ぶ、大人が関わる、地域とつながる、そしてまた新しい学びが生まれる。

たくさんの方々と一緒に、「すべての子どもに多様な学びの選択肢を」

という未来に向かって歩んだ1年となりました。

Thank you for being
a part of
Scuola dei Bambini.



TA PARTNERS
CERTIFIED PUBLIC TAX ACCOUNTANTS' CO.

税理士法人 ティーエーパートナーズ

スクール事業

モンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州 (MEK)

2026年4月 在籍生徒数: **14名**

昨年度7月末に山門町へと移転し、日々新たな環境へと進化を続ける新校舎。現在は1～6年生のあわせて14名の児童が元気に学んでいます。

子どもたちの豊かな想像力から生まれる小さな疑問は、すべて大切な「学びの種」です。異年齢がともに過ごす縦割り

クラスの中で、広く深い世界への探究を毎日続けています。

【スクール3日間体験 (MEKトライアル) のご案内】

体験入学は随時受け付けております。ご希望の方は、下記フォームよりお気軽にお申し込みください。



MEKトライアル参加フォーム



公益事業

子ども食堂 (寿山・スコーラダイニング)

寿山・スコーラダイニングは、子どもが「もてなされる」場所ではなく、子ども自身が「提供側」の主役となって運営する新しいスタイルの子ども食堂です。

大人のサポートは最小限に抑え、子どもたちの「やりたい!」という主体性を一番のごちそうに、地域のみなさまとあたたかい食卓を囲みます。食育・地域コミュニティの醸成・フードロス削減を同時に実現する地域共生拠点を目指しています。どなたでもお気軽にお越しください!

日時: 毎月第3土曜日
場所: 寿山市民センター

【子ども & 大人 ボランティア大募集!】

一緒に食堂を盛り上げてくれる「子どもボランティア」および温かく見守りサポートしてくれる「大人ボランティア」を募集しています!

関心のある方はぜひ公式HPまたはメールよりお気軽にご連絡ください。



寿山・スコーラダイニング



スコーラカフェ

スコーラカフェ

「子どもも大人も、社会も共に育つ」をコンセプトに掲げる相互交流型の学び場です。私たちがこれまで受けてきた教育の当たり前を見つめ直し、学びの多様な選択肢や価値観のパラダイムシフトを共に考えます。モンテッソーリ教育のエレメンタリー課程での実践を起点に、参加者のみなさまと深く対話していきます。

●11月28日 (土) 13:00～15:00

●2027年2月6日 (土) 13:00～15:00

参加料: 各回1,500円



スコーラカフェ参加フォーム

産官学連携プロジェクト

「アウトサイドワークプレイス (屋外活動の場)」のデザインおよび共同制作」

九州職業能力開発大学校 建築科との共同研究も今年度で4年目を迎えます。

2026年度は、「MEKアウトサイドワークプレイス (屋外活動の場)」のデザインおよび制作に取り組む予定です。

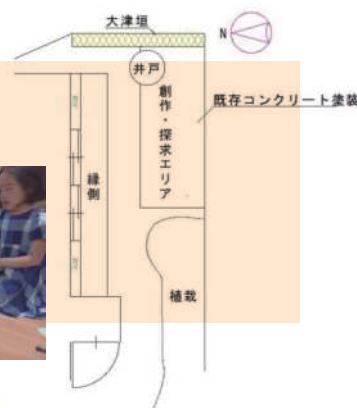
単なるヒアリングや打ち合わせにとどまらず、MEKに通う子どもたち自身も参加するワークショップを行いながら制作

を進めています。子どもたちの学びの環境をより豊かに整え、ウェルビーイングの向上につながるスクール空間を目指し、パートナーのみなさまと一丸となって取り組んでまいります。

協働パートナー:

九州職業能力開発大学校 (九州ポリテクカレッジ)

資材提供: 大英産業株式会社



Scuola dei Bambini は **認定** NPO へ

特例認定NPO法人Scuola dei Bambiniは、2026年8月20日をもちまして「**認定NPO法人**」へと格上げされました!

これも日頃より温かくご支援くださる皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

今後もモンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州 (MEK) を通じ、子どもたちの豊かな学びの場づくりに力を尽くしてまいります。

引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



創業昭和三十年
中国料理
各種ご予約承っております。



 **株式会社ツネミ**

KIT AKYUS HU

かめりあ
こひうめる
暮らお助け隊
産業廃棄物最終処分場




会社案内の
QRコードはこちら!!



 **セゾン株式会社**

代表取締役 大庭省二
<https://www.saison-g.co.jp>

防犯カメラ	機械警備	電話機設備	ナースコール
OA 機器	LAN 設備	Wi-Fi 設備	au ショップ到津

本社:北九州市小倉北区西港町94-6 TEL: 093-583-6655 FAX: 093-583-0556
 筑後地区(宮):八女郡広川町新代1779-1 TEL: 0943-22-8511 FAX: 0943-22-8512
 auショップ到津:北九州市小倉北区到津3-3-3 TEL: 0800-700-2957

造園・植栽工事、廃木材リサイクル、きのこファーム

 環境づくりに心をこめて
株式会社 **守恒造園建設**

〒802-0986
北九州市小倉南区志井鷹羽台 4-3
TEL 093-962-4211



内科・形成外科専門医による各分野に特化したクリニック


KUROKI HIRO CLINIC

くろぎひろクリニック
北九州市小倉北区上到津3丁目8-11
内科 093-651-3847 / 形成外科・美容外科 093-651-7773



和樂書院

幼年～大人まで
実用・ペン字 硬筆・毛筆・仮名文字
問い合わせ 090-9659-7799





教科書を閉じて、
世界で学べ。

ー世界を旅して学ぶ、リアルな学びの学校ー

インフィニティ国際学院
中学部・高等学校
公式WEB ▶



**tamtam
DESIGN**

株式会社タムタムデザイン一級建築士事務所


トルペ
TorPe
SPAIN BAR

Genius Auto Service

GAS



輸入中古車販売・修理・買い取り
北九州市小倉南区「横代交差点」そば
ジーニアスオートサービス


GITANJALI
CURRY & BAR

北九州市小倉北区大門1-3-10



わかまつクリニック

内科 院長 若松 信一
北九州市小倉北区浅野2丁目14-1
KMMビル2階(小倉駅北口すぐ)
電話093-512-8760



社会を支える、維持管理の力

塗装工事、防水工事、コンクリート補修、永久型枠工法



ダイキ工業株式会社

北九州市小倉北区赤坂5丁目6番64号 TEL. 093-541-6081



ダイキ工業



大英産業株式会社

新築マンション分譲 / 新築戸建分譲
土地分譲 / 不動産仲介・管理・買取再販
不動産コンサルタント(相続・投資)
リフォーム / 街づくり / 宿泊



Corporate site

四季の味 **万喜瀬**

北九州市小倉北区鍛冶町1丁目3-12
レセプションピアUIW
093-541-5293



**いたや小児歯科
大人歯科医院**

北九州市小倉北区片野新町1丁目12-25



診療予約は
こちらから



イングリッシュプラス



公式LINE



Instagram



café
causa



アクティブジャパン

代表 末廣 要



山之内歯科医院

院長 山之内達哉



〒806-0057北九州市八幡西区鉄王二丁目2番36号
電話番号:093-631-2100 FAX番号:093-631-7080

小倉駅ビル
好立地で採用に強いオフィス
入居者募集中



DISCOVERY
coworking

☎ 093-513-1007

2～6歳のバイリンガルモンテッソーリスクール



カーサ・デ・バンビーニ
北九州市小倉北区吉野町12-19

企業主導型保育園

0歳からのモンテッソーリスクール



RIVERWALKこどもの家
北九州市小倉北区室町1-1-1
リバーウォーク北九州2階

JLOCAL

誰もが「生きている喜び」を感じられる未来へ

子どもたちは皆、自ら育ち、世界を探究する素晴らしい力を秘めています。

私たちが目指すのは、すべての子どもたちが「ここに来てよかった」と心から思える場所。ありのままの自分を受け入れられ、自分の手で学び、生きていることの喜びを全身で感じられる環境です。

子ども時代に育まれた小さな好奇心や「できた!」という輝きは、やがて豊かな創造性と自立心となり、次の時代を優しく切り拓く力となります。

「教育が、未来を変える。」私たちはそう信じ、子どもたちの「今」を支え、誰もが生き生きと暮らせる社会を未来へ繋いでいきます。

未来を育む、温かな一歩をともに。

一人の力は小さく見えるかもしれませんが、誰かを想う温かな支援が集まることで、より多くの子どもたちに安心できる居場所と、豊かな学びの機会を届けることができます。子どもたちの「今」を支えることは、私たち全員が暮らす「未来の社会」をともに創り出していくことそのものです。未来の社会を共につくるパートナーとして、私たちの歩みに力を貸していただけましたら幸いです。



「認定通知書授与式」2026年9月2日、北九州市市民活動サポートセンターにて

あなたの“ちょっと”が、子どもたちの“ずっと”に Scuola dei Bambini への寄付プランはこちらからお選びいただけます。

月1,000円プラン

子どもの「やってみたい」を応援：
ちょっとした教材・材料などを
届ける力になります。

月3,000円プラン

学校の外にも、安心して過ごせる
居場所を：安心して人や社会と
つながる場を支えます。

月5,000円プラン

一人ひとりに合った「学び」を：
一人ひとりの興味やペース、得意を
大切にしたい学びの機会を支えます。

月10,000円プラン

子どもの未来：学び・居場所・食・
社会体験など、自分らしく成長するための
継続的な環境づくりを。

2分で寄付完了 /



単発の寄付も大歓迎！ お気持ちのタイミングで、無理なくご支援いただけます。



特例認定NPO法人Scuola dei Bambiniの

賛助会員も募集しています！

私たちと一緒に活動してくださる方、私たちの活動を応援してくださる方、賛助会員さんになりませんか？年会費3000円で賛助会員になっていただいた方には、毎年発行の会報誌の送付や、メールにてイベントや活動のお誘いをさせていただきます。

NPO法人Scuola dei Bambiniの身近な存在として、ご支援いただける方のご参加をお待ちしております！

賛助会員のご登録は
こちらから



Scuola dei Bambini

認定NPO法人 Scuola dei Bambini
北九州市小倉北区吉野町12-19
会報誌Vol.009 | 2026年9月1日発行



不動産全般のお困り事はお気軽にご相談ください

Q & エステート株式会社

不動産売買・賃貸仲介管理・改装工事

(公社)全国宅地建物取引業保証協会 福岡県知事許可(2) 第19667号

TEL 093-533-9102

営業時間 / 9:00 - 18:00 定休日 / 水曜日・第2・3日曜日



Q_AND_ESTATE

